

かわさきの新たなランドマーク

川崎市内を一望できる展望ロビー・スカイデッキを公開



新庁舎は、震災対応にも優れ、大規模災害時にも市民への情報発信、生活再建・復興の中枢拠点として役割を担います。



北東方面には、六郷河川敷や新宿に東京都庁、羽田空港の航空機離発着、東京タワーやスカイツリーなどが一望できます。



南東方向には、横浜ランドマークタワーやベイブリッジ、つばさ橋、また天気の良い日には富士山を一望することができます。

1938年に竣工した川崎市庁舎は、75年の歴史に幕を閉じ、新たに地上25階、地下2階、高さ約117mの新庁舎が誕生。

新庁舎25階には、地上110mの高さから市内を一望できる『展望ロビー・スカイデッキ』が設置され、市内は勿論、東京都内、羽田空港やスカイツリー、横浜ベイブリッジから富士山に至るまで眺望が楽しめます。どなたでも利用でき、入場無料。

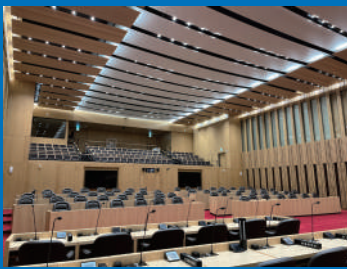
【展望ロビー公開時間】

午前9時～午後9時まで

(土日祝日含む)

※設備点検や悪天候時には展望フロアを閉鎖することがあります。

市民代表の議員が熱い議論を展開する議場



議員席後方の傍聴席は、100名が議会の進行を見ることができます。また、親子席が設けられ、小さいお子さんと一緒に安心して議会をご覧いただけます。



議場内「演壇」からの風景。代表質問や討論などおこなう時に使用されます。議場や委員会室では、市民生活に直結する様々な課題を活発に議論されています。

新庁舎23階・24階部分にある市議会議場は、各区選出の議員60人が市民の代表として、活発に論戦が繰り広げられています。

新議場では、新たに採決における押しボタン方式を採用し、大型スクリーンに各議員の賛否が色分けして表示されるなど、採決態度が鮮明になりました。

傍聴の流れ【動画】



「議会かわさき」広報キャラクターのおよよんが川崎市議会の傍聴の流れをご紹介します。

議会中継



開催中の会議および過去の会議をご覧になれます。

会議録検索システム



川崎市議会の本会議・委員会等の全発言を対象に言葉で検索できます。



ぜいじのみかた

2025年 vol.8



特集 川崎市が11月から「リチウムイオン電池」を回収！
西長沢公園多目的広場の雨水排水問題と利便性

川崎市議会議員
環境委員会 委員

みつる
飯田 満



Profile

川崎市が11月から「リチウムイオン電池」を回収!

川崎市は、全国的に問題となっているリチウムイオン電池の回収に乗り出すことになった。今年11月から小物金属の日(月2回)に廃棄することが可能となり、透明な袋に張り紙(「充電電池」「モバイルバッテリー」など)をすることが必要。また、電気自転車で使用されるバッテリーなど、長辺が30cm以上の物は、「粗大ごみ」(有料)での廃棄となります。



全国で火災事故が多発!本市でも直近5年で10件の収集車火災!

リチウムイオン電池が発火元となる火災事故が全国的に増加している。廃棄に至らずとも携帯している際にも発煙し、度々、航空機内に持ち込まれたモバイルバッテリーが原因となるニュースが後を絶ちません。

この度、川崎市では、使用しなくなったリチウムイオンバッテリーや同内蔵型の充電電池を廃棄する場合、これまで一般社団法人JBRCの加盟店による店頭回収や市内の生活環境事業所での回収を実施してきましたが、今年11月からは「小物金属」として回収することとし、市民の皆さんが廃棄しやすい方法で収集することとなりました。

この背景には、川崎市でも直近5年間で、10件のゴミ収集車の火災事故が発生し、その原因が普通ゴミにリチウムイオン電池を混入されていたことによる事故だったことが報告されています。火災トラブルを未然に防ぐことで、安全安心な市民生活を実現すること、持続した廃棄物行政の継続は市民に必要な不可欠となります。リチウムイオンバッテリーなどのゴミを排出する市民の皆さんにもルールを順守していただき、火災事故等のない社会の実現をめざして行くことが重要です。

リチウムイオン電池等は小物金属で収集します!

近年、普通ごみに混入されたリチウムイオン電池等による火災が多発しています。分別に御協力をお願いします。

開始月 令和7年11月

収集日 小物金属の日(月2回) ※収集日は川崎市HP参照

対象 家庭で使った**充電式電池**
(リチウムイオン電池、リチウム ニッケル ニカド モバイルバッテリー等)

※電池が本体から取り外せないものも対象

※乾電池、リチウムコイン電池は従来どおり使用済み乾電池で出してください

対象外 自動車用バッテリー、パソコン本体、ポータブル電源

※パソコンから外した電池は対象

処分方法は、川崎市HP参照

出し方

- ① 端子部に透明なテープを貼り、絶縁してください。
 - ② 透明な袋に入れ、貼り紙をして資源物集積所に出してください。
- 記載例: 充電電池、リチウム、モバイルバッテリーなど

※膨張・変形している充電式電池は、他の電池と分けて透明な袋に入れ、貼り紙をして出してください。



※一番長いところが30cm以上のものは「粗大ごみ」へ (有料・申し込み制)

問合せ先 川崎生活環境事業所(川崎市) 044-266-5747
(電話) 中原生活環境事業所(幸区・中原区) 044-411-9220
宮前生活環境事業所(高津区・宮前区) 044-866-9131
多摩生活環境事業所(多摩区・麻生区) 044-933-4111
川崎市環境局減量推進課 044-200-2580

西長沢公園多目的広場の雨水排水問題と利便性

川崎市宮前区の北部に位置する神奈川県広域水道企業団が所有する西長沢浄水場の調整池。約1万㎡の調整池の一部は、川崎市が管理する多目的広場として、多くのスポーツ団体や地域住民が利用する公園として長年親しまれている。この多目的広場を利用する市民から、ある時期を境に利便性について疑問の声があがっている。地域の声、市民の声を丁寧に聞き、その疑問や課題について、解決に向け取り組みをレポートする。

少しの降雨で、中1日以上多目的広場の利用ができない状態?!

西長沢公園多目的広場は、ソフトボールやサッカー、少年野球、ゲートボールなどのスポーツ目的で利用することが可能な施設。また、近隣の幼稚園の運動会や自治会主催によるソフトボール大会、地域の方々の散歩コース、小さなお子さんのピクニック利用など、多彩な利用形態で多くの皆さんに親しまれています。

この西長沢公園は、神奈川県広域水道企業団の調整池の上に設置されている施設で、近年、その調整池の耐震工事が実施され、数年に渡り利用できない時期が続いていました。昨年、工事も終了し、9月から公園としての利用も再開されるなど、賑わいが回復しながらも、多目的広場の利用団体からは降雨による水捌け、排水の問題が指摘されるようになりました。

この1年間、利用団体や行政を含め実地調査をおこなってきたところ、調整池躯体上にモルタルが敷かれ、その上に20cmの浸透層、50cmの盛土、5cmのダスト舗装と約75cmの厚さしか盛土がないことが判明。当然、雨水の地下浸透はできず、多目的広場表面には広域な水たまりができ、多くを蒸発による解消に頼らざるを得ない状況では、水捌けの悪さが指摘されても不思議ではありません。

現在、行政と協議を継続しながら、来年度から試験施工、効果検証、設計委託、工事へと雨水排水設備改修工事の実現に向けて取り組みを実施しているところです。



雨天後の西長沢公園多目的広場の様子

雨天翌日(午前11時30分頃)



雨天翌日(午後4時30分頃)



雨天翌々日(午前6時頃)

